



16年前、阪神大震災が起き、6434人が亡くなりました。その1月17日の翌日の18日、本校で、火災を想定しての防災訓練を実施しました。書道室付近で火災が発生したとして、全校生徒が校庭に避難しました。





齊藤教頭先生の講評 全員が避難完了するまでに、5分35秒かかったそうです。訓練でしたが、もう少し真剣に、そして、迅速に避難できたのではないのでしょうか。阪神大震災の話など、みんな熱心に聴いていました。



代表の生徒も上手に消火しました。地面を掃くように消火すると消えやすいそうです。



先生方も消火作業を実施しました。ALTのジョナサン先生の弟さんは、ニュージーランドの fire fighter だそうです。



天気はいいでしたが、やはり冬で、風が冷たいでした。風向きがしょっちゅう変わるために、消火器の煙に襲われて、特に2年生が逃げ惑う場面がありました。西諸地域は火事が多いそうです。火の元には、十分気を付けたいものです。